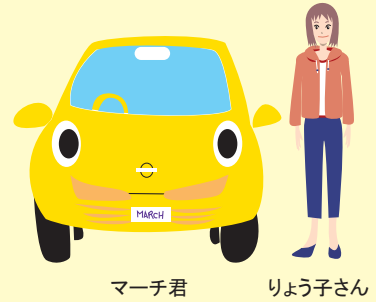


レンタカーをご利用のみなさまへ

東海地震対応マニュアル

静岡県は、東海地震の発生による大規模な被害が想定されるため、「地震防災対策強化地域」に指定されています。万が一の災害時、皆様の安全を守る為に、このマニュアルをご活用ください。



マーチ君 りょう子さん

1 警戒宣言が発令されたら



●地震がくるのはいつ？

東海地震の発生を予知するため、気象庁では24時間体制で観測が行われています。異常が認められ、2～3日以内(または数時間以内)にマグニチュード8程度の大地震(東海地震)が発生すると判断された場合は、「警戒宣言」が発令され、地震の発生に備えるよう、警告が出されます。警戒宣言の発令は、テレビ、ラジオで放送される他、市・区役所や町村役場の広報、サイレンなどでも伝えられます。

●運転中に警戒宣言が発令されたら

すぐに地震がくるわけではないから、慌てないで！



警戒宣言発令!



- 急ブレーキは避け、ゆっくりと低速走行に移ります。一般道路では20km/h、高速道路では40km/h程度が目安です。
- カーラジオ等で地震情報や交通情報を確認します。情報に従って、落ち着いて行動します。
- すぐに停車したり、車を放置してその場を離れたりすることは、交通渋滞や混乱を引き起こす原因となりますので避けるようにしましょう。

●警戒宣言が発令されたときの社会状況

警戒宣言が発令されると、強化地域内では以下のような措置が取られます。

道路

避難路などを確保するため交通規制がされる。車は徐行運転。

バス・タクシー

付近の安全なところまで走行し、運行は中止される

鉄道

JR東海道線では、由比、清水、焼津、金谷、弁天島、新居町駅を除く最寄の安全な駅に停車する。新幹線は熱海を除く最寄の駅に停車

電気・ガス・水道

使用可能だが、できるだけ使わない

電話

使用可能だが、混雑が予想されるためできるだけ使わない

幼稚園・学校

閉園、閉校。園・学校にいる園児・児童生徒は原則としてすぐ帰すか、保護者に引き渡す

デパート

原則として営業停止

コンビニ

出来る限り営業を続ける

病院

外来診療中止

銀行

原則として営業は中止するが一部のATMは使用可能

2 地震発生！ ～走行中に揺れを感じたら～

●地震発生の瞬間

走行中に大きな地震が発生すると、車はタイヤがパンクしたような状態になり、ハンドルをとられて走行が困難になります。大変危険ですので、揺れを感じても、決して急ブレーキはかけないようにしましょう。



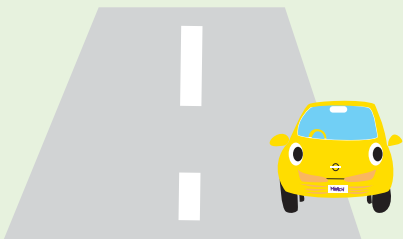
①安全なところに車を止めましょう



急ブレーキは避け、追突されないよう気をつけてゆっくりと減速します。

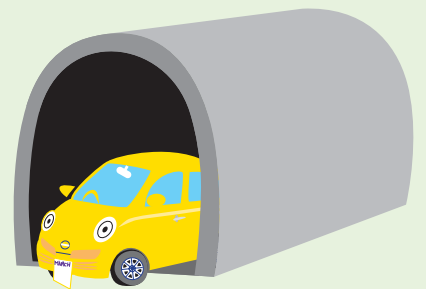
邪魔にならない
場所に止めないと

一般道路では、交差点を避け、道路左側に停車するようにします。近くに駐車場や空き地がある場合はそこへ駐車します。



高速道路でも、できるだけ左側に寄せ、渋滞などで左に寄せない場合は右側に寄せて停車し、道路の中央部は緊急輸送車両や避難する人々のためにあけておきます。

トンネル内や橋を通過中に地震にあった場合は、慌てず、安全なところまで移動し、停車します。トンネルや橋が長い場合は、その場で左側に寄せて停車し、すみやかに安全な場所へ避難します。



②停車したら…

落ち着いて、
状況を知ることが
大切ね

- カーラジオ等をつけ、地震情報や交通情報を聞き状況を把握します。
- 地震発生後もしばらくは様子を見て、むやみに動き回らないようにします。
- 現場の警察官や、誘導に従い冷静に行動します。

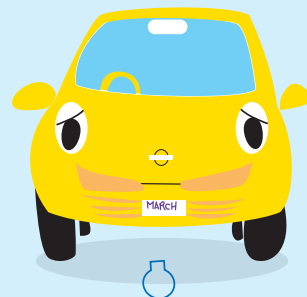


3 地震発生！ ～安全のために～

●車を置いて避難するときは…



- 車は邪魔にならないところに停車しましょう。
- 火災を引き込まないように窓を全て閉めます。
- エンジンを止めます。
- キーは差し込んだままにしておきます。
- ドアはロックしないようにします。
- 貴重品を持って、指示に従い避難しましょう。



●近くで車両火災が発生したら…！？



渋滞中の火災は、他の車両を巻き込んで大惨事になる可能性があります。車両火災が発生したら、近くにいる人みんな協力して火を消すよう努めましょう。ただし、規模が大きい場合は身の安全を第一に考え、すみやかに安全な場所へ退避してください。

高速道路では、1kmおきに非常電話が設置されていますので、大きな災害や事故を発見した場合などの連絡用にご使用してください。

※非常電話では一般電話との通話はできません。

●流言やデマに注意！

災害時には、様々な情報が飛びかい、混乱した人々がパニックに陥って、より被害が拡大してしまう場合も考えられます。

ラジオやTVなどによる情報をしっかりと聞き、流言やデマに惑わされないよう、落ち着いて行動しましょう。



●やってはいけないこと



- 危険が切迫している場合を除いては、自分の判断で走行することはやめましょう。
- 走行中でなかった場合は、地震発生後、車での避難はできません。
- 緊急車両や避難する人々の妨げとなる行為はやめましょう。
- いたづらに人々の混乱を煽るような言動は慎みましょう。